

初めて第三セクターの話が公式に出た平成22年1月13日の 全員協議会の会議録の一部(黒塗り部分町が町民に非公開とした部分)

とめてしまわないと、もう時間的に間に合いません。そういうことですり合わせをしながらやっております、やっと来たと。

そこで、やはりありがたいことに、この事業に対する理解者が出てきて、13億円、5億円プラス8億円ということで、土地代を含めての13億円、融資ができるということで、確約書もいただいています。これも簡単にいっても額が大きいから、かなり努力をされたのですけれども、2月1日しか入らないと。これについても、町が資本を投入して、第三セクター方式にやろうということです。そのことの確約書です、ほかのところ、例えば中村建設さんとかそういうところも、そういう確約のもとで資本金の額も入れてもらっています。この目的は、一人一役、全員が協力しないと成り立たないという、非常にわかりやすいようで非常に難しい話なのですけれども、やっとここまで来ましたので、その内容を今日説明して、そしてご質問があれば受けて、そして本会議で審議していただければありがたいなと思います。

あと、細かな点は、資料を見ながら説明したいと思います。よろしくお願いします。

まず、資料の確認ですけれども、この事業計画書というのがあります。これは、数字が若干変わっておりますので、変更した分に入れ替えております。これはまた、後で説明します。それから、これが1枚紙です、出資に関する資料ということで、現行、今までには現行ですから、今の資本の額ということで、定款に載っている分が現行です。変更というのは、今後ということで書いております。それも説明します。そして、参考資料ということで、出資の確約書という綴りがあります。これも中村建設、熊電施設、宏栄産業ということで六つ出ています。これも後で説明します。

それから、資料としまして、現在の御船竹資源の定款です。という形になります。順番が行ったり来たりするかもしれませんが、まず、SPC、目的会社のほうの趣旨に乗ずるということで、この一枚紙のほうを見ていただきたいと思います。この定款と比べるとわかりますけれども、この定款が、御船竹資源開発株式会社、9月4日作成で、10月16日公証人認証、10月17日会社設立ということで、定款の写しを付けております。この中に出てきます出資者と出資額というのが、熊電施設3,000万円です。環境資源開発10万円、田淵さん、東亜機工、つまり個人で300万円ということで、3,310万円でした。それが右のほうに行きまして、熊電施設は会社の会議をされて、3,000万円を300万円にされました。これはちょっと不安がられたということですね。これはある意味では当たり前のことかも

しれませんけれども、きちんと手続きを踏まえてやられたということで300万円です。熊電施設さんも元代表ですので、話をして、事業に対する理解はありますけれども、今後について不安がられたということで、話をして、町が入るならば1,000万円に戻しますという確約書をいただいています。それから、環境資源開発は10万円となっていますけれども、これが実は仁田勝幸蔵さんという方が代表で、先ほど言いました宮崎のほうですね、今もまだ交渉中です、資金のほうですね。これは正直言いまして明日明日と来て、現在に至っているわけで、笑い話で「明日という字は明るい日と書くねというけれども、いっちょん明るくならんね」という話をしていたのですけれども、本当、明日明日で、今まで来まして、今、話としては、1,000万円ぐらいにしようかという話が出ています。融資ができ次第です、そして現行はそのまま、現行どおりです。それから、東亜機工ですが、これも現行です。この宏栄産業というのが、本当にありがたいことに、本社が広島尾道のほうです。鹿児島志布志のほうにも工場を持っておられて、この人との出会いが新しい融資先ということで、後でまたお話ししますが、聖徳太子の会と、財団法人聖徳太子の会、こちらのほうが、聖徳太子というくらいですから天皇とか徳川本家の人たちがそういうのを作って、世の中のためになるようなことについては、融資をしますよという団体があって、この宏栄産業の松原社長さんと20年来のお付き合いということで、松原社長に対してかなり信用があります。松原社長のほうが、この竹の事業に注目されましてぜひやりたいということで手を挙げられて、先日も、うち合わせ会をしましたけれども、3,000万円を入れますということです。

それから、中村建設さん、これは天草のほうの会社です。県のほうでも特Aクラスということで、かなり優良企業です。この中村建設さんと熊電さんも、いろいろ連携をとられていたみたいで、そういう関係です。それに御船町が3,000万円と、これは上勝町ですね、議員の研修で行きましたけれども、上勝町が葉っぱ産業、それから間伐等ですね。葉っぱ産業はJA、間伐は森林組合と、それから例の一体さんとかいろいろありましたでしょう、ああいう五つですね、第三セクター方式でやっておられます。笠松町長にも電話をしまして、いろいろお尋ねをしているところです。非常にいいアドバイスもいただいて、結局入口・出口がしっかりすると回りますよという話もいただいていますので、成功事例を生かしながらやっていけば十分だと思います。25%以上の出資になれば、監査権が出てくるということです。中身のチェックができるということです。特にこの事業については、